Printed in Malaysia　WU39080-1 [Ja]

YAMAHA

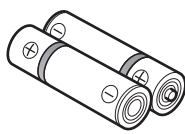
J

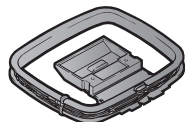
RX-V767
簡易接続・操作ガイド

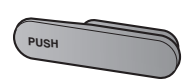
本書および取扱説明書は下記の URL から PDF 版をダウンロードできます。
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

付属品の確認と準備

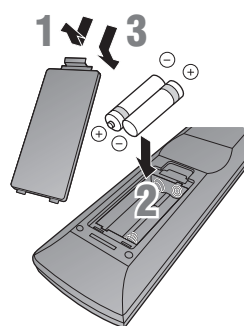
付属品の確認

同梱されていることをお確かめください。

リモコン

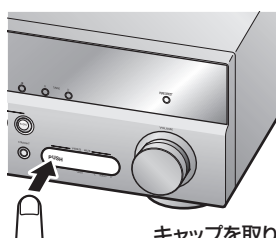
単 4 乾電池（2 本）

AM ループアンテナ

FM 簡易アンテナ

前面入力端子保護キャップ

YPAO マイク

リモコンの準備

付属の単 4 乾電池（2 本）を、プラス / マイナスの表示に合わせて入れます。

前面入力端子保護用キャップの取り付け / 取り外し

フロントパネルの VIDEO AUX 端子を使わない場合は、ホコリなどの汚れを防ぐために付属の前面入力端子保護用キャップを取りつけてください。取り付けたキャップは、キャップ左側を押して外すことができます。

キャップを取り外す

1 スピーカー / サブウーファーを接続する

5.1 ～ 7.1 チャンネルのスピーカー構成の場合、次のように設置・接続してください。

接続するスピーカーの数に合わせてスピーカーケーブルを用意してください。

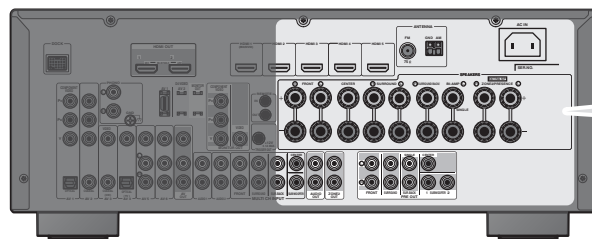
- 本書に記載している以外の接続方法については、取扱説明書の「スピーカー / サブウーファーを接続する」（☞ p.14）をご覧ください。

ご注意

- スピーカーを接続する場合は、本機の電源プラグをコンセントから外してください。
- スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている場合は、本機の電源をオンにしたときに本体のディスプレイに「CHECK SP WIRES!」と表示されます。
- スピーカーはインピーダンスが 6 Ω以上のものをお使いください。

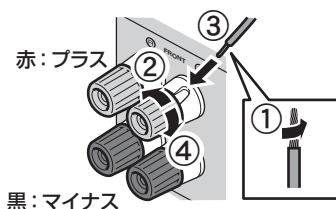
本機へのスピーカー構成の設定

スピーカー構成を変更（または最初に設定）する際は、スピーカー構成を本機で設定する必要があります。
本機の「パワーアンプ割り当て」機能で簡単にスピーカー構成を本機へ設定できます。
- 右記のスピーカー構成の際は「パワーアンプ割り当て」が初期設定のままで使用できます。

リアパネル

*1 本機は音場効果を選ぶサウンドプログラムにより、プレゼンススピーカーとサラウンドバックスピーカーのどちらから出力するかを自動で選びます。

スピーカー / サブウーファーの接続

1 フロントスピーカーを本機の FRONT 端子に接続する。

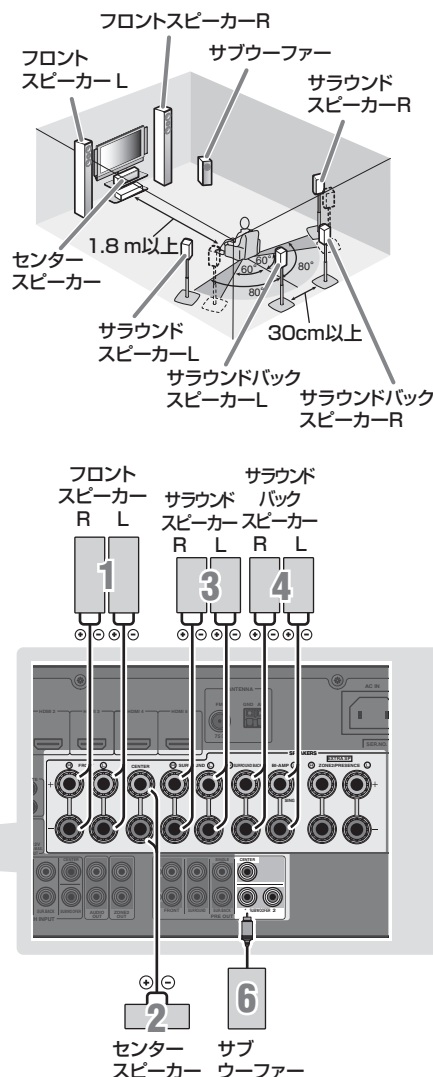
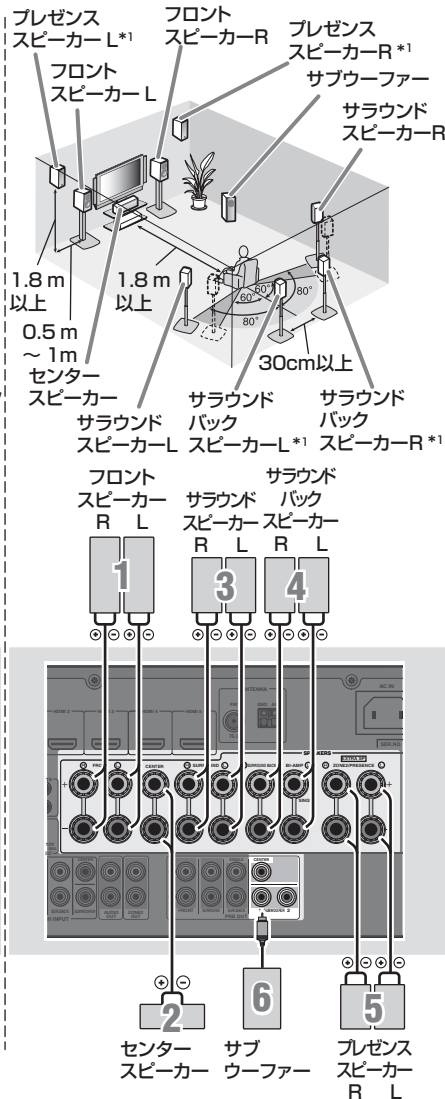
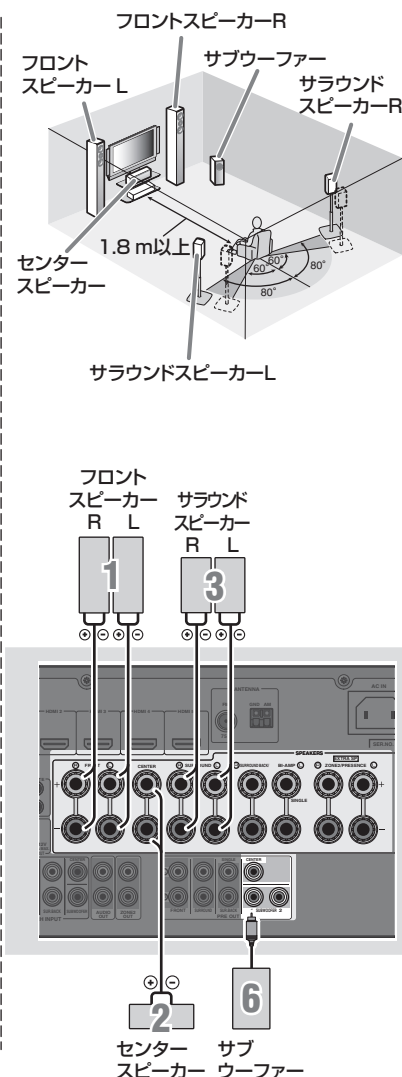
一般的にスピーカーケーブルは、平行した 2 本の絶縁ケーブルです。ケーブルのうちの 1 本は極性を判別するために異なった色またはラインが入っています。異なった色の（またはラインの入っている、など の）ケーブルを本機とスピーカーの「+」（プラス、赤）へ、もう片方のケーブルを「−」（マイナス、黒）へ接続してください。

① スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を 10mm ほどはがし、ショートしないように芯線をしっかりとよじる。

② スピーカー端子をゆるめる。

③ 端子側面のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。

④ 端子を締め付ける。

YAMAHA CORPORATION

■ 7.1 チャンネルシステムの場合
（スピーカー × 7 + サブウーファー）

■ 7.1 チャンネルシステムの場合
（スピーカー × 7 + サブウーファー
+ プレゼンス）

■ 5.1 チャンネルシステムの場合
（スピーカー × 5 + サブウーファー）

• 上のイラストの番号は、「スピーカー / サブウーファーの接続」の手順を示しています。

2 センタースピーカーを本機の CENTER 端子に接続する。

手順1と同様にスピーカーケーブルを接続します。

3 サラウンドスピーカーを本機の SURROUND 端子に接続する。

手順1と同様にスピーカーケーブルを接続します。

（7.1 チャンネルまたは 6.1 チャンネルシステムの場合のみ）

4 サラウンドバックスピーカーを本機の SURROUND BACK 端子に接続する。

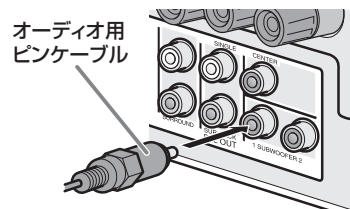
手順1と同様にスピーカーケーブルを接続します。

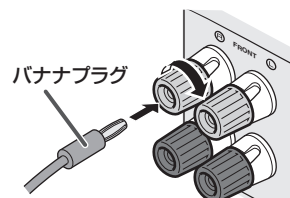
• 6.1 チャンネルシステムの場合は SURROUND BACK L SINGLE 端子に接続します。
• 5.1 チャンネルシステムの場合は接続しません。

（7.1 チャンネルでプレゼンススピーカーを使用する場合のみ）

5 プレゼンススピーカーを本機の EXTRA SP 端子に接続する。

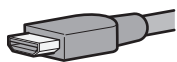
手順1と同様にスピーカーケーブルを接続します。

6 サブウーファーを本機の SUBWOOFER 端子に接続する。

バナナプラグを使って接続するには

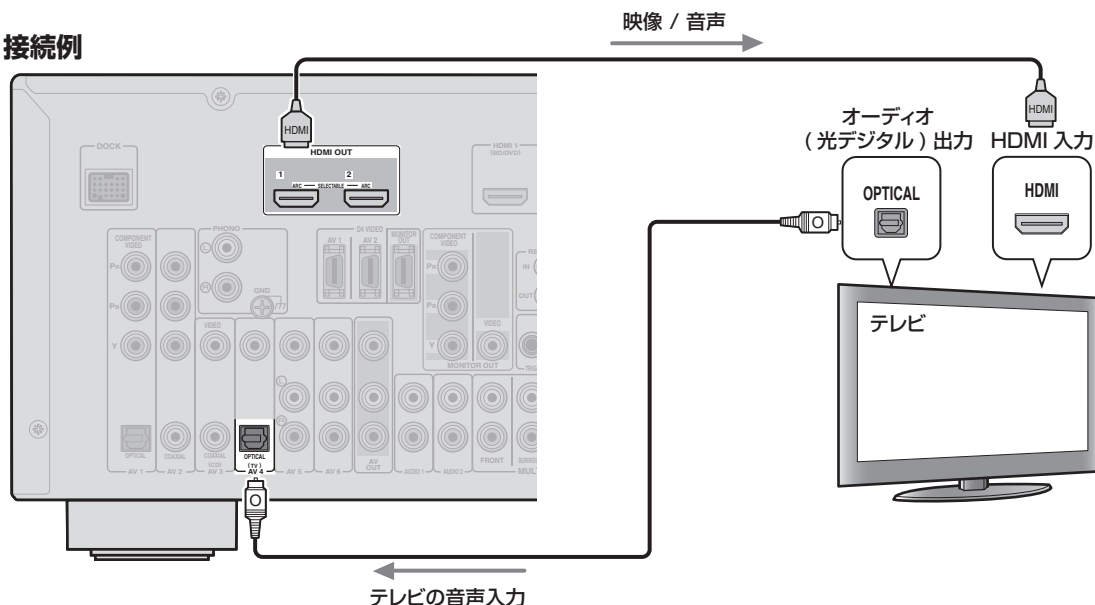
スピーカー端子をしっかりと締めつけ、端子の先端にバナナプラグを差し込む。

② テレビを接続する

HDMI に対応したテレビ

使用するケーブル

HDMI ケーブル：

デジタル音声用光ファイバーケーブル：

ケーブルの先端にキャップが付いている場合は、
キャップを取り外してからご使用ください。

接続例

＊ 上記のように接続した場合、**SCENE** キーの「TV」を押すだけでテレビの音声が再生できます。（工場出荷時）

HDMI に対応したテレビ（Audio Return Channel 機能付き）

- HDMI 入力対応のテレビをご使用しており、テレビ側が Audio Return Channel 機能に対応しているときは、HDMI ケーブル 1 本で、テレビへの映像 / 音声出力、本機への音声入力の両方が実現できます。詳しい設定については、取扱説明書の「テレビの音声を本機で聴く」（☞p.18）をご覧ください。
- Audio Return Channel 機能に対応しているときは、音声入力の接続は不要です。

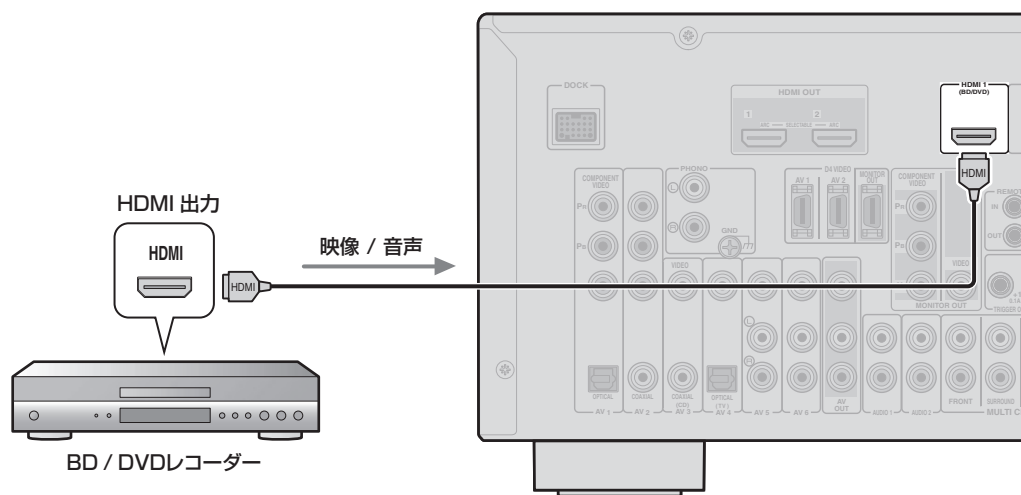
その他のテレビ

- HDMI 以外の出力端子を使用した接続については取扱説明書の「テレビを接続する」（☞p.17）をご覧ください。

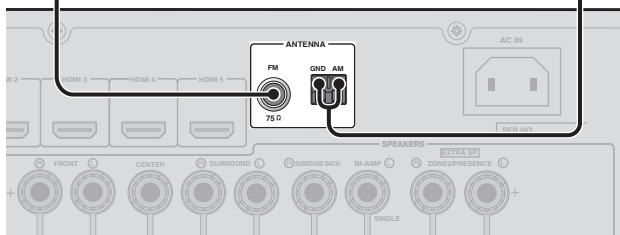
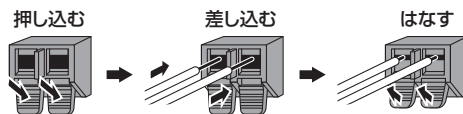
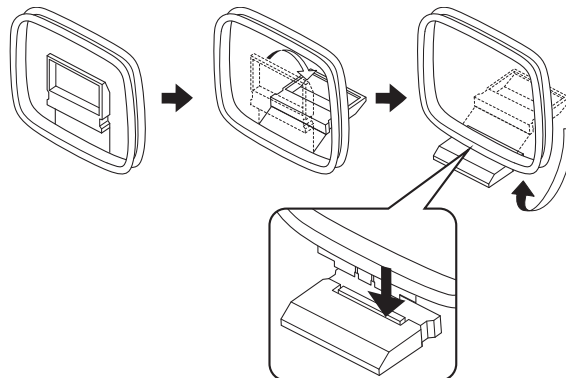
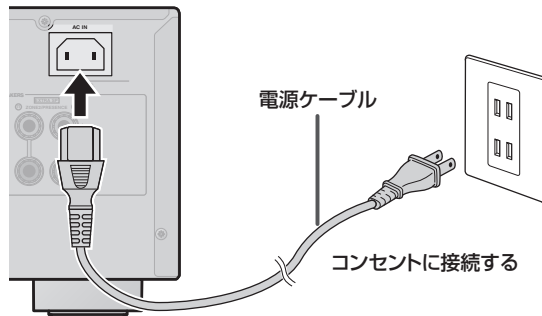
③ BD（ブルーレイディスク）/ DVD レコーダーなどを接続する

HDMI に対応した BD / DVD レコーダー

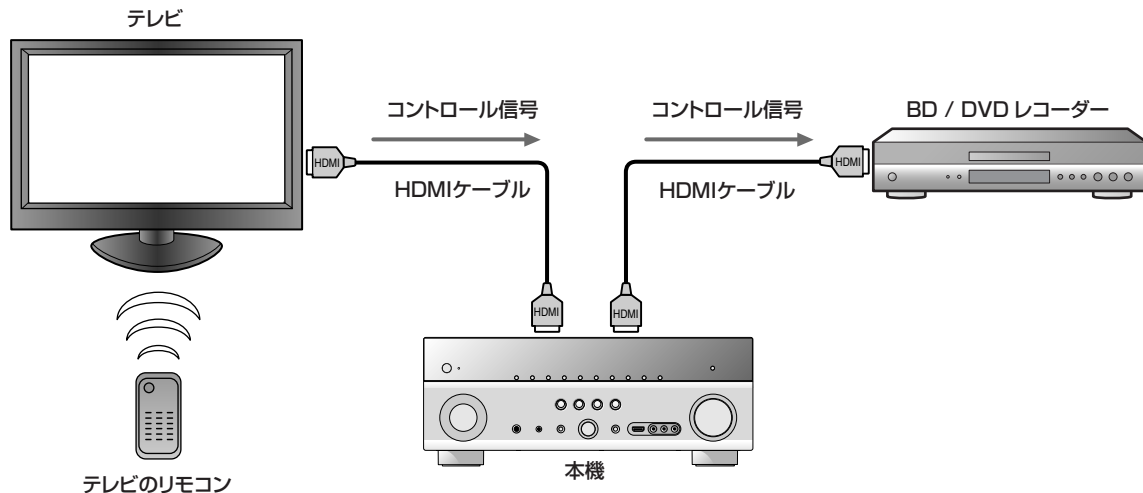
使用するケーブル

HDMI ケーブル：

その他の機器

HDMI 以外の接続方法については取扱説明書の「BD（ブルーレイディスク）/ DVD プレーヤー（レコーダー）などの再生機器を接続する」（☞ p.21）をご覧ください。

④ FM/AM アンテナを接続する

⑤ 電源ケーブルをコンセントに接続する

⑥ テレビのリモコンで本機を操作する

HDMI コントロール機能対応のテレビと HDMI ケーブルで接続すれば、テレビのリモコンで下記の操作ができます。

- 電源操作（スタンバイ / オン）の連動
- 音量の調節（大 / 小、消音）
- 音声を出力する機器（テレビまたは本機）の切り替え

1 HDMI コントロール機能に対応したテレビを本機の HDMI 出力端子 (HDMI OUT 1-2) へ接続する。

工場出荷時は「HDMI コントロール」の出力設定が HDMI OUT 1 端子になっています。

2 HDMI コントロール機能に対応した BD / DVD レコーダーを本機の HDMI 入力端子（HDMI 1-5）へ接続する。

3 テレビおよび本機の電源をオンにする。

外部機器側の操作は、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

4 テレビ、BD / DVD レコーダーおよび本機の HDMI コントロール機能を有効にする。

本　機	ON SCREEN メニューの「HDMI コントロール」がオンになっていることと、「コントロール選択」でテレビを接続した端子が選ばれていることを確認してください。 （工場出荷時は「HDMI コントロール」がオン、「コントロール選択」が OUT1(TV1) になっています。） 本機設定の詳しい説明は、取扱説明書の「HDMI の設定」(☞ p.67) をご覧ください。
テレビおよび BD / DVD レコーダー	お使いの機器に付属している取扱説明書をご覧ください。

5 テレビの電源をオフにする。

テレビの電源に連動して、他の HDMI コントロール対応機器の電源がオフになります。連動しない場合は、手動で電源をオフにしてください。

6 テレビの電源をオンにする。

テレビの電源に連動して、本機の電源がオンになったことを確認してください。オフになっている場合は手動でオンにしてください。

7 テレビの入力設定を、本機と接続した入力（例 : [HDMI1] など）に切り替える。

8 HDMI コントロール機能対応の BD / DVD レコーダーを本機に接続した場合は、それらの機器の電源をオンにする。

本　機	BD / DVD レコーダーを接続した入力ソース（HDMI1-5）が選ばれていることを確認してください。 他の入力ソースが選ばれた場合は、一度手動で入力ソースを選択してください。
テレビおよび BD /DVD レコーダー	テレビにレコーダーの映像が正しく映っていることを確認してください。

ここまでの操作は、2 回目以降必要ありません。

9 テレビのリモコンを使って下記の操作をして、本機が正しく連動しているか確認する。

- 電源オン / オフ
- 音量の調節
- 音声出力機器の切り替え

本機とテレビの電源操作が連動しない場合は、両方の機器で HDMI コントロール機能がオンになっているかご確認ください。

正常に連動しない場合でも、外部機器の電源のオン / オフ操作や、電源プラグをコンセントに接続し直して電源を入れることで、改善されることがあります。

電源オンのみ連動しない場合には、テレビ側で優先される音声出力の設定をご確認ください。

- テレビや BD / DVD レコーダーに付属する取扱説明書の下記内容もあわせてご覧ください。
  - テレビ側の HDMI コントロール機能を有効にする
  - AV アンプ（レシーバー）との接続方法に従って、本機とテレビを接続する
- HDMI コントロール機能をより有効に利用するために、テレビと BD / DVD レコーダーは、なるべく同一メーカーのものを使うことをおすすめします。
- 各社の HDMI コントロール機能の対応状況については、以下のウェブサイトをご覧ください。
  http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/hdmi_cec/index.html

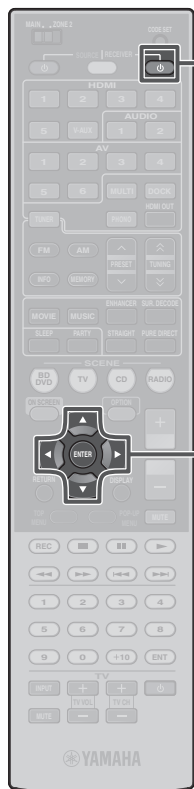
⑦ スピーカー設定を自動で最適化する（YPAO）

接続が終わったら、スピーカーの有無、音量バランス、音色を調整して最適な音響が得られるよう調整します。本機にはスピーカーの各種設定を自動で最適化する YPAO (Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer) が搭載されており、簡単な操作で各種設定を最適化できます。

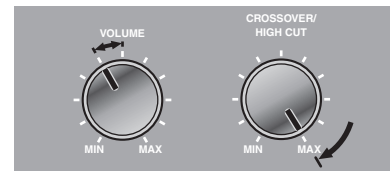
ここでは 1 か所の視聴位置で測定する方法を説明します。複数の視聴位置で測定する方法（マルチ測定）は、取扱説明書の「スピーカー設定を自動で最適化する（YPAO）」（☞ p.27）をご覧ください。

YPAO をご使用になる場合は、次のことにご注意ください。

- テストトーンは大きな音量で出力されます。ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- YPAO を実行する前に、テレビや各スピーカーが本機に正しく接続されているかご確認ください。

YPAO は、テレビ画面に表示される画面（オンスクリーンディスプレイ）を見ながら操作できます。

1 テレビの電源をオンにし、テレビの入力を本機からの映像に切り替える。

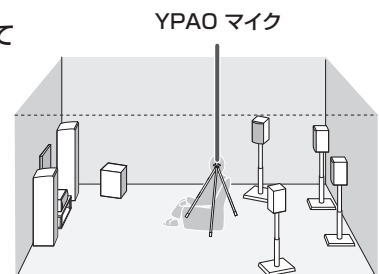
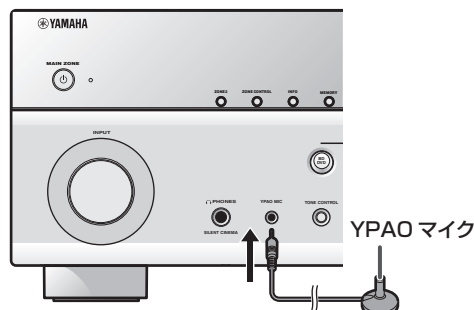
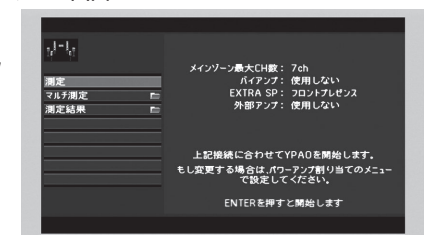
2 サブウーファーの電源をオンにする。

クロスオーバー周波数を調整できるサブウーファーをご使用の場合は、周波数を最大に設定してください。

サブウーファーの例

3 本機からヘッドホンが取り外されていることを確認する。

4 **RECEIVER ⏻** を押して、本機の電源をオンにする。

5 付属の YPAO マイクを耳の高さにあわせて視聴位置に置く。

マイクを設置する際は、高さを調節可能な器具（三脚など）をマイクスタンドとして使うことをおすすめします。三脚を使って設置した場合は、三脚のネジを使ってマイクを固定してください。

6 フロントパネルの YPAO MIC 端子に YPAO マイクを接続する。

フロントパネルディスプレイに「Mic On. View ON SCREEN」と表示され、テレビに右の画面が表示されます。

フロントパネルディスプレイ

テレビ画面

- 画面が表示されない場合、テレビの入力切り替えを確認してください。
- 測定前に YPAO マイクを取り外すと、操作を中止して YPAO を終了できます。
- 他の操作をして画面が切り替わった場合、YPAO マイクを接続し直してください。

これで準備は完了です。測定を実行する際は、より正確な測定結果を得るために次のことにご注意ください。

- 小さなお子様がいらっしゃる場合は、テストトーンで驚かないよう十分にご配慮ください。
- 測定には約 3 分かかります。測定中はリスニングルームをできるだけ静かに保ってください。
- 測定中は、スピーカーと YPAO マイクの間を遮らないようにしてリスニングルームの隅で待機するか、部屋から退出してください。

7 **カーソル △/▽ を使って「マルチ測定」を選び、ENTER を押す。**

8 **カーソル △/▽ を使って「いいえ」を選び、ENTER を押す。**

9 **カーソル △/▽ を使って「測定」を選び、ENTER を押して測定を開始する。**

問題なく測定が終了すると、次の画面が表示されます。

測定結果

自動測定の結果などを表示します。詳しくは取扱説明書の「自動測定の設定値を確認する／以前の状態に戻す」（☞ p.29）をご覧ください。

保存／終了

測定結果がスピーカーの設定へ反映され、自動測定が終了します。

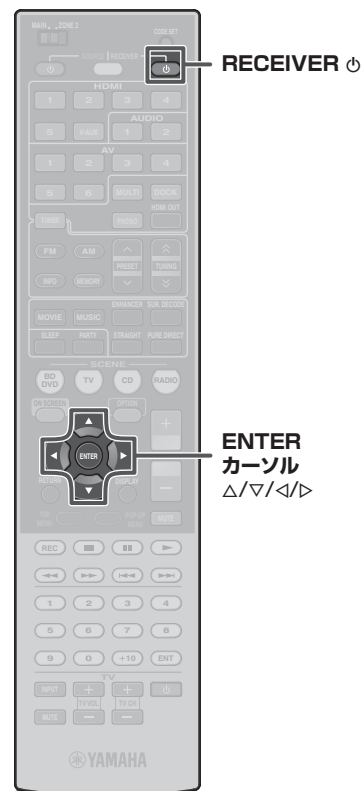
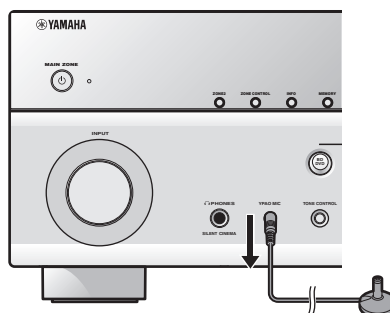
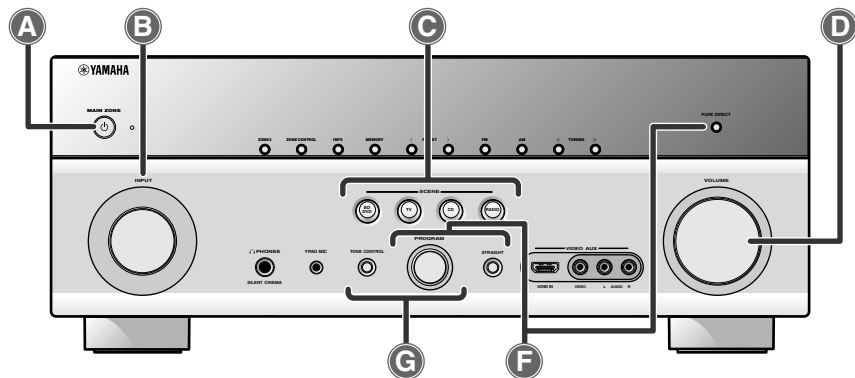
問題が発生した場合は、測定中または測定後にエラーメッセージ（E-1 など）や警告メッセージ（W-1 など）が表示されます。
取扱説明書を参照して問題を解消したあと、再度 YPAO を実行してください。
取扱説明書の「測定中にエラーメッセージが表示された場合」、「測定後に警告メッセージが表示された場合」（☞ p.30）をご覧ください。

10 **カーソル △/▽ を使って「保存／終了」を選び、ENTER を押す。**

11 **カーソル ◁/▷ を使って「保存」を選び、ENTER を押す。**

左の画面が表示され、YPAO 設定が完了します。

12 **ENTER を押す。**
YPAO 設定が完了しました。YPAO マイクを本機から外してください。

YPAO マイクは熱に弱いため、測定が終了したら高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

基本操作

Ⓐ **電源のオン / スタンバイを切り替える**

キーを押すたびに電源のオン / スタンバイが切り替わります。

Ⓑ **視聴する入力ソースを選ぶ**

選択した入力ソースの名前がフロントパネルディスプレイに表示されます。

Ⓒ **シーンを切り替える**

キー操作 1 つで入力ソースやサウンドプログラム（音場プログラム）などを切り替えます。

シーン	入力ソース	サウンドプログラム（音場プログラム）	コンプレストミュージックエンハンサー	HDMI 出力端子
BD/DVD	HDMI 1	Drama	オフ	HDMI OUT 1+2
TV	AV4	STRAIGHT	オン	HDMI OUT 1+2
CD	AV3	STRAIGHT	オフ	HDMI OUT 1+2
RADIO	TUNER	STRAIGHT	オン	HDMI OUT 1+2

- 電源がスタンバイのとき **SCENE** キーのいずれか 1 つを押すと、電源オンから入力ソース / 音場プログラムの切り替えまでを一括して操作できます。

Ⓓ **音量を調節する**

現在の音量がフロントパネルディスプレイに表示されます。

Ⓔ **消音（ミュート）する**

ミュート中はフロントパネルの MUTE インジケーターが点滅します。

Ⓕ **音場効果やサラウンドデコーダーなどを選ぶ**

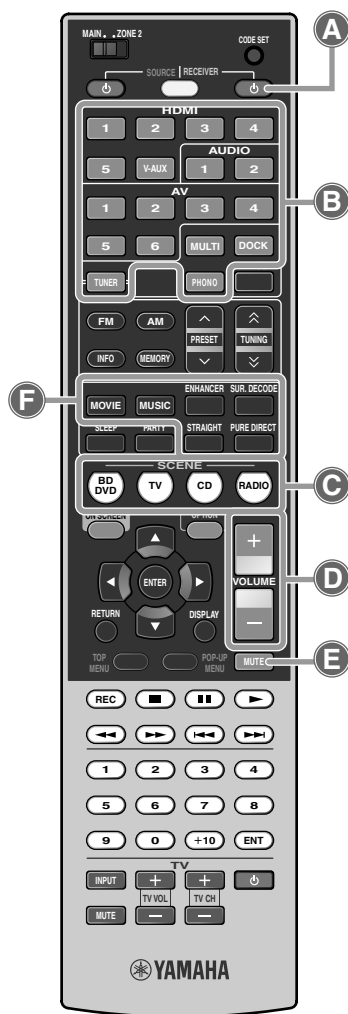
フロントパネル	リモコン	内容
PROGRAM	MOVIE	映画やドラマ、スポーツなどの鑑賞に適したサウンドプログラムを選びます。
	MUSIC	音楽鑑賞に適したサウンドプログラムを選びます。
	SUR. DECODE	Dolby Pro Logic II などのサラウンドデコーダーを選びます。
STRAIGHT	STRAIGHT	音場効果をかけずに再生する、ストレートデコードモードに切り替えます。
PURE DIRECT	PURE DIRECT	音声を忠実に再生する、ピュアダイレクトモードに切り替えます。

- 圧縮フォーマット音源の再生時は、コンプレストミュージックエンハンサーモードをオンにすることをおすすめします。**ENHANCER** を押すと、コンプレストミュージックエンハンサーモードのオン / オフが切り替わります。

Ⓖ **高音 / 低音を調整する（トーンコントロール）**

1 **TONE CONTROL** を押して「Treble」または「Bass」を選ぶ。

2 **PROGRAM** セレクターを回して設定値を増減させる。

- スピーカーとヘッドホンは個別にトーンコントロールを設定できます。ヘッドホンを接続した状態で操作すれば、ヘッドホン用のトーンコントロールが調節できます。
- 音色を極端なバランスに調節した場合、音のつながりが悪くなることがあります。

本体のリモコン信号受光部に向け、以下の範囲内で操作してください。